

令和5年度 厚木市と市内5大学との 連携計画事業

	連携の類型	件数
1	委員会等の委員（※附属機関等除く）	6
2	学習講座等に対する協力 ① 市の講座に対する協力 ② 大学の講座に対する協力	8 (5) (3)
3	学生によるボランティア	6
4	事業に対する協力 ① 市の事業に対する協力 ② 大学の事業に対する協力	18 (13) (5)
合計		38
※令和5年度新規事業数		6

1 委員会等の委員

No	①事業名	②事業概要	③事業目的	④事業開始年度	⑤参加者 (教授等氏名、学生等)	⑥事業費 (千円)	⑦必要性と効果	⑧協働の形態	⑨備考	⑩課等名
1	厚木市友好交流委員会	市内大学関係者に委員として参加していただき、厚木市の国際交流事業に大学の意見を反映するとともに、大学との協働による事業を展開する。	友好都市等との交流、国際理解の促進、国際平和に貢献できる諸事業を推進する。	H13年度	神奈川工科大学基礎・教養教育センター 大木 富教授 松蔭大学 コミュニケーション文化学部 異文化コミュニケーション学科 高橋 敏哉教授 湘北短期大学 グローバルコミュニケーションセンター副センター長 山形 俊之教授 東京工芸大学 海老澤 模奈人教授 東京農業大学 農学部 野村 こう教授	—	市内大学関係者に委員として参加してもらうことにより、厚木市の国際交流事業に大学の意見を反映するとともに、大学との協働による事業を展開するために必要である。	1_委員会等の委員		企画政策課
2	松川サク工業振興基金事業	市内工業系大学の優秀卒業生に松川サク工業賞の授与を行う。	名誉市民の故松川サク氏の遺志による寄附を基に、次世代の人材の育成し、工業の発展を図ることを目的とする。	S63年度	神奈川工科大学 湘北短期大学 東京工芸大学	400	将来の工業発展及び科学心の高揚が図られる。	1_委員会等の委員		産業振興課
3	厚木市立小鮎公民館運営委員会	公民館の運営と各事業の推進にあたる委員会。年3回程度実施、委員として関与いただく。	厚木市立小鮎公民館の適正な運営と、各種事業を着実に推進し「元気で活力ある小鮎地区」の実現を目指すことを目的に、小鮎地区の学校の代表者・団体等で構成された公民館運営委員会を開催している。	H13年度	・東京工芸大学 職員1人	—	継続的に小鮎公民館区内の学校・団体の方の意見をいただくことで、よりよい公民館運営につながる。	1_委員会等の委員		小鮎公民館

No	①事業名	②事業概要	③事業目的	④事業開始年度	⑤参加者 (教授等氏名、学生等)	⑥事業費 (千円)	⑦必要性と効果	⑧協働の形態	⑨備考	⑩課等名
4	小鮎公民館学級・講座 開設委員会	地域住民の教養の向上や健康増進、情操の純化を図るため、開設委員会委員として関与いただく。	地区内の大学関係者に委員として参加してもらい、様々な意見を取り入れていただく。	H13年度	・東京工芸大学 職員1人	—	継続的に小鮎公民館区内の学校・団体の方の意見をいただくことで、地域住民のニーズを的確にとらえた学級講座を実施していくことにつながる。	1_委員会等の委員		小鮎公民館
5	厚木市・大学図書館 相互利用連絡会	相互利用に関する実務担当者をもって組織し、相互利用を円滑に推進するための連絡会を開催する。 (平均年1回開催)	大学図書館及び中央図書館の実務担当者が図書館の相互利用を円滑に推進するため、貸出しの事務についての確認や協議を行う。	H13年度	神奈川工科大学 松蔭大学 湘北短期大学 東京工芸大学 東京農業大学	—	厚木市内の大学図書館と厚木市立中央図書館との相互利用に関する協定書」で設置が規定されており、「厚木市立中央図書館所蔵資料の大学図書館への貸出しに関する取扱要綱」で、定めのない事項については連絡会で協議することになっている。各図書館の実務担当者が実際に顔を合わせ、意見や情報交換をすることができる唯一の場である。	1_委員会等の委員		中央図書館
6	グローバル教育交流事業 実行委員会	市内大学関係者に委員として参加していただき、厚木市の国際交流事業に大学の意見を反映するとともに、大学との協働による事業を展開する。	ニュージーランドや友好都市等との交流、国際理解の促進に貢献できる諸事業を推進する。	R5年度	湘北短期大学 グローバルコミュニケーションセンター長 山形 俊之准教授	7,220	市内大学関係者に委員として参加してもらうことにより、国際交流事業に大学の意見を反映するとともに、大学との協働による事業を展開するために必要である。	委員会等の委員		教育指導課

2-① 学習講座（市の講座に対する協力）

No	①事業名	②事業概要	③事業目的	④事業開始年度	⑤参加者 (教授等氏名、学生等)	⑥事業費 (千円)	⑦必要性と効果	⑧協働の形態	⑨備考	⑩課等名
1	あつぎ協働大学開設事業	市民の高い学習意欲に応えるため、大学の特色に合わせた「教養科目」、厚木市の概要等について学ぶ「協働科目」、市内企業と連携した、企業の取り組みなどについて学ぶ「企業科目」を実施する。また、講義で得た学びを有効活用し、自主的な市民活動へつなげることを目的に、受講修了者を対象に相互の交流促進や活動を始めるための実践的な知識・情報を習得する「実践科目」を実施する。	市民と行政の協働によるまちづくりを実現するため、学習機会を提供し、及び専門的な学習要求に応えるとともに、まちづくり等の活動を主体的にできる人材を育成する。	H20年度	東京工芸大学：平岡一幸、岡野光俊、大嶋正人、小沢一仁、橘野実子 神奈川工科大学：澤井淳、花井美保、石綿良三、仲亀誠司、市村重俊 湘北短期大学：鈴木孔明、金澤良晃、清水一毅、大川なつか、赤井裕美 松蔭大学：末次俊之、鈴木秀顕、下村晃子、小林克、丸山 昭子 東京農業大学：杉山立志、木村雄一、松田浩敬、菊地デイル万次郎、峯洋子	1,357	多様化・高度化している市民の生涯学習ニーズに応じており、受講者から高い満足度を得ている。	2-1_市の講座に対する協力	オンライン開催	文化生涯学習課
2	あつぎ協働大学特別講座	幅広い世代を対象に大学での研究にかかわる知識、技能、技術を講座として開催する。	市内5大学との協働・連携を通して、小中学生に知識、技能、技術を体験活動させることで、大学に対する興味関心を高め、学びの楽しさを知ってもらおう。	H24年度	松蔭大学：下村晃子、吉田裕子 東京農業大学：森元真理、土田あさみ	1,357	多様化・高度化している市民の生涯学習ニーズに応じており、受講者から高い満足度を得ている。	2-1_市の講座に対する協力		文化生涯学習課
3	学級講座開催事業「ネイチャー教室」	東京農業大学の学生が指導者になり、小学生を対象にネイチャーゲームを実施する。	東京農業大学の学生と地域の小学生が、ネイチャーゲーム等を通じて交流を図る。	H15年度	東京農業大学自然教育研究会ネイチャーズクラブ 50人	55	大学生と小学生という異なる世代間の交流を通じて、小学生に対し自然への学習の機会を設けるとともに、豊かな社会性を育むことに貢献している。	2-1_市の講座に対する協力		愛甲公民館
4	睦合西公民館学級・講座「さわやか友悠塾」	学級講座の中で、65歳以上を対象とした講座として開催する。 (在宅看護に関する理解を深める)	地域に住む高齢者が仲間づくりを中心とした幅広い学習をすることで、生きがいを見つけ、健康で安心した生活を送ることができるようにする。	R5年度	学校法人松蔭学園松蔭大学 看護学部 高橋 真由美	—	高齢者が直面する問題について、理解を深めていただき知識の習得に貢献する。	2-1_市の講座に対する協力		睦合西公民館

No	①事業名	②事業概要	③事業目的	④事業開始年度	⑤参加者 (教授等氏名、学生等)	⑥事業費 (千円)	⑦必要性と効果	⑧協働の形態	⑨備考	⑩課等名
5	子どもプログラミング教室～プログラミングでロボットを動かそう！～	学級講座の事業として、神奈川工科大学の先生と学生を南毛利公民館に招き、地区内小学4～6年生を対象にプログラミング教室を行う。	教室を通じてプログラミングと神奈川工科大学に興味を持ってもらう。	R4年度	神奈川工科大学創造工学部 教授 金井徳兼 (ほか学生2名(助手))	10	大学の先生や学生と一緒にプログラミングを学習する機会を提供することで、地区内在住の小学生に対し大学での学習への興味関心を広げることができるとともに、専門性の高いプログラミング学習をすることができる。	2-1_市の講座に対する協力		南毛利公民館

2-② 学習講座（大学の講座に対する協力）

No	①事業名	②事業概要	③事業目的	④事業開始年度	⑤参加者 (教授等氏名、学生等)	⑥事業費 (千円)	⑦必要性と効果	⑧協働の形態	⑨備考	⑩課等名
1	環境学習講座	神奈川工科大学の授業「Stop the CO2 入門」の年度当初の講義にあたり、「ごみの正しい出し方」及び地球温暖化対策講座についての職員の派遣が依頼され、講義を行う。	「Stop the CO2入門」の講義を選択した学生に、ごみと地球温暖化対策の講義を行い環境意識を高め、授業を受講する学生の目的意識を高める。	H21年度	神奈川工科大学 准教授 今井 健一郎 受講者 30人	—	「Stop the CO2入門」の授業を選択した学生にごみと地球温暖化対策の講義を行い環境意識を高め、授業を受講する学生の目的意識を高めることができる。	2-2_大学の講座に対する協力		環境事業課 (環境政策課と共同実施)
2	フレッシュマンセミナー	東京農業大学からの依頼で同校の新入生必修科目である「フレッシュマンセミナー」に職員を派遣し、「若者の消費者トラブル未然防止とセーフコミュニティ」についての講義を行う。	東京農業大学の新生に、消費者トラブル及びセーフコミュニティについて講義を行い学生の消費者トラブルの未然防止とセーフコミュニティ活動への参加意欲を高める。	H24年度	東京農業大学 学生 615名	—	東京農業大学の新生に、消費者トラブル及びセーフコミュニティについて講義を行い学生の消費者トラブルの未然防止とセーフコミュニティ活動への参加意欲を高めることができる。	2-2_大学の講座に対する協力		セーフコミュニティ くらし安全課
3	学芸員の派遣	神奈川工科大学の人文社会科学演習の授業において、地域の歴史・文化を学ぶため、あつぎ郷土博物館の学芸員3人を派遣する。	人文社会科学演習の授業において、「厚木の歴史と文化」についてを学生が学ぶ。	R5年度	基礎・教養教育センター 師玉真理先生 他学生4人	—	大学生が地域の歴史・文化等に触れ学ぶ機会を作ることができる。	2-2_大学の講座に対する協力		文化財保護課

3 学生ボランティア

No	①事業名	②事業概要	③事業目的	④事業開始年度	⑤参加者 (教授等氏名、学生等)	⑥事業費 (千円)	⑦必要性と効果	⑧協働の形態	⑨備考	⑩課等名
1	学生等によるにぎわいアドベンチャー隊事業	厚木市及び「厚木市まちなか活性化プロジェクト」が学生等と協働して、中心市街地のにぎわい創出につながる事業を企画開催する。	本厚木駅周辺における中心市街地のにぎわい創出と回遊性の向上を図る。	H20年度	神奈川工科大 5名 湘北短大 6名 松蔭大 5名 東京農業大 1名 東京工芸大 3名	3,955	厚木市まちなか活性化プロジェクトが実施する「にぎわいアドベンチャー隊事業」に参画するにぎわいアドベンチャー隊員連絡会を組織することにより、学生に対して市政情報等の発信や顧客対応などのマーケティング教育の実践の場を提供することに寄与している。	3_学生ボランティア		商業にぎわい課
2	青少年非行防止活動事業（第35回心と街のクリーン作戦）	青少年の健全育成啓発活動として本厚木駅周辺において薬物乱用防止並びに非行防止活動キャンペーンと市街地周辺の環境美化活動を実施する。参加大学生及び高校生の一部は、実行委員として関与いただく。	青少年自らが美化活動及び啓発活動を実施し、青少年を取り巻く環境の美化と喫煙飲酒薬物乱用防止・非行防止を広く市民に訴える。	H1年度	東京農業大学 湘北短期大学 松蔭大学 東京工芸大学 神奈川工科大学	10,482	環境美化活動、啓発活動の実施により青少年の健全育成を推進することができる。	3_学生ボランティア		青少年教育相談センター

No	①事業名	②事業概要	③事業目的	④事業開始年度	⑤参加者 (教授等氏名、学生等)	⑥事業費 (千円)	⑦必要性と効果	⑧協働の形態	⑨備考	⑩課等名
3	つかみどり大会	玉川に生簀を仮設し、小学生を対象とした、鮎や鱒のつかみどり大会を実施する。	川に親しむシーズンをとらえ、当地区住民が自然と親しみながら住民同士のふれあいを促進する。	H29年度	東京農業大学 学生3人	—	大会の円滑な運営（参加者受付補助、会場整理等）に大いに貢献している。 小学生が運営に携わる大学生の姿を見て「ボランティア」精神が育まれることに寄与。	3_学生ボランティア		愛甲公民館
4	湘北短期大学保育ボランティア受入れ	湘北短期大学の学生を、市内公立保育所4園にて受入れる。	学生の保育への理解を深めるとともに、保育士としての資質向上を図る。	H21年度	湘北短期大学学生（保育学科） 8月～9月4園41名受入	—	学生は、保育所での保育活動や健康な児童の姿を観察し、認識と理解を深め、心構えや態度を研修し、将来の看護師としての資質を高める。	3_学生ボランティア		保育課
5	あつぎの魅力創造発信事業	住みたい・働きたい・訪れたいと思える魅力あるまちづくりに向けた事業及びあつぎの魅力を創造し全国に発信する事業を実施する。	20歳代を中心とした若い世代の定住促進・転出抑制を図る。	H28年度	市内5大学生10人（各大学2人ずつ）	7,500	大学生の参加を得ることで、事業の趣旨である20歳代の定住促進を図る目的に寄与することができる。	3_学生ボランティア		企画政策課
6	里地里山保全ボランティア	市内の里地里山の保全に関心のある大学生を募集し、市で認定する活動団体と一緒に保全作業を実施する。	里地里山の保全活動団体が抱える会員減少の問題に対応するとともに、大学の地域社会への貢献や学生の社会体験の場として、学生ボランティアを募集し持続的な保全活動を目指す。	R5年度	東京農業大学 松蔭大学	—	活動団体の担い手不足を補うことと併せて、若い世代の作業参加による活性化を図る。 また、学生には保全作業を通じて、地域とのつながりを経験することができる。	3_学生ボランティア		環境政策課

4-① 事業に対する協力（市の事業に対する協力）

No	①事業名	②事業概要	③事業目的	④事業開始年度	⑤参加者 (教授等氏名、学生等)	⑥事業費 (千円)	⑦必要性と効果	⑧協働の形態	⑨備考	⑩課等名
1	厚木市職員採用試験	東京農業大学厚木キャンパスにおいて、厚木市職員採用試験を実施する。	厚木市人材育成基本方針に基づき、幅広い視野と感性を持った、意欲と情熱のある人材を確保する。	H27年度	厚木市職員を志す学生・社会人等	-	都市間競争が進む中、厚木市が将来にわたって持続的な発展を続けていくためには、意欲と情熱を持った人材を確保する必要がある。	4-1_市の事業に対する協力		職員課
2	河川学習事業	準用河川恩曾川にある親水広場を活用し、水質調査及び水生生物調査並びにごみの状況調査を行う。	子どもたちが身近な河川での環境学習に取り組み、環境の実態を把握し、河川を大切にすることを育む。	H19年度	東京農業大学 農学部野生動物学研究室 佐々木剛教授、 野生動物学研究室学生20人	194	専門的知識を持つ大学教授や学生から指導を受けることにより、子どもたちの河川に対する興味が広がり、身近な河川環境保全の大切さを次世代に引き継ぐことができる。	4-1_市の事業に対する協力		河川ふれあい課
3	S E L 教育基金事業 (おもしろ理科教室)	厚木市 S E L 教育基金条例に基づき、確かな学力を身に付けた心豊かで健康な児童及び生徒を育成するために教室を実施する。	本市に事業所を置く最先端の科学技術を有する企業及び理工系大学との連携・協力を通じて、子どもたちに、豊かな活動を体験させることで、科学等への興味・関心を高め、理科好きの厚木の子を育成する。	H20年度	神奈川工科大学 東京工芸大学 東京農業大学 各大学から数名参加	1,475	子どもたちが最先端の科学技術に触れ、豊かな体験活動を行うことを通して、科学等に対する興味・関心を高めることができる。	4-1_市の事業に対する協力		教育指導課

No	①事業名	②事業概要	③事業目的	④事業開始年度	⑤参加者 (教授等氏名、学生等)	⑥事業費 (千円)	⑦必要性と効果	⑧協働の形態	⑨備考	⑩課等名
4	大学図書館・公民館図書館等ネットワーク事業	市立図書館所蔵資料の大学図書館への貸出（学生・職員の利用）や市民の大学図書館閲覧利用、市立図書館を經由して大学図書館所蔵資料を市民に貸出する。	大学図書館との相互協力により、市内大学に通う学生・教職員に対する図書館サービスの充実を図るとともに、市民も大学図書館の情報力を活用することができるようにする。	H13年度	神奈川工科大学 松蔭大学 湘北短期大学 東京工芸大学 東京農業大学	37,626	大学の学生・教職員の利便性を維持し、市民が大学図書館の専門情報をりようするために、必要な事業である。また、大学図書館の地域開放を促す効果があると考えられる。	4-1_市の事業 に対する協力		中央図書館
5	学生消防団活動認証制度	厚木市消防団に入団している大学生、大学院生又は専門学校生が、消防団員として真摯かつ継続的に消防団活動に取り組み、顕著な実績を収め、地域社会へ多大なる貢献をした功績について、厚木市がその功績を認証する。	厚木市消防団に入団している大学生、大学院生又は専門学校生が、「大学生等消防団員として、地域社会へ貢献をした功績を厚木市が認証し、就職活動を支援する」ことを目的とする。	H29年度	消防団に在団する学生	—	学生の就職活動を支援し、学生消防団員のメリットを付与することにより、消防団員の確保及び活動への意欲向上が図られる。	4-1_市の事業 に対する協力	—	消防総務課
6	ロボット教室	子ども科学館が主催するイベントにおいて、来館者を対象とし、学生が講師となって工作教室を行う。	子どもたちの科学や物づくりへの関心を深める機会を創出するとともに、ロボット製作を中心に活動する学生団体が日頃の研究成果を発揮し、工作指導の経験を積む場として開催するもの。	H26年度	神奈川工科大学KAIT EDTC の学生 6名	30	大学のノウハウを借りることで市民サービスの向上を図るうえで効果的である。	4-1_市の事業 に対する協力		青少年課

No	①事業名	②事業概要	③事業目的	④事業開始年度	⑤参加者 (教授等氏名、学生等)	⑥事業費 (千円)	⑦必要性と効果	⑧協働の形態	⑨備考	⑩課等名
7	サイエンスウインター 2023	子ども科学館が主催するイベントにおいて、来館者を対象とし、市内高校生及び大学生、その他市民団体等が講師となって、実験や工作教室を行う。	市内の大学、高等学校及び市民活動団体との市民協働による、子どもたちの科学や物づくりへの関心を深める機会を創出するとともに、学生を始めとする各出展団体の日ごろの研究成果を発表する場として、開催するもの。	H26年度	神奈川工科大学 ①三栖先生研究室 (教員1名、学生6名の) ②KAIT EDTC (学生6名)	—	大学のノウハウを借りることで市民サービスの向上を図るうえで効果的である。	4-1_市の事業 に対する協力		青少年課
8	フレイル予防教室	フレイル対策が必要と思われる高齢者に対し、専門知識を有する者が作成した運動、栄養、社会参加等のフレイル予防に関する内容の健康教室(4圏域)を実施する。	令和5年度厚木市高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施事業の一環としてフレイル予防教室を開催し、参加者の運動機能向上を図る。	R3年度	神奈川工科大学 ロボット・メカトロニクス学科 高橋勝美 教授 地域連携センター長 小川喜道 名誉教授 他	4,380	高齢者に対する運動機能評価等の研究を行っている教授が本事業に携わることにより、独自の測定機器を使用するなど、他にはできない効果的な取り組みを実施することができる。 また、事業の効果としては、参加者の運動機能向上により介護予防及び医療費削減に繋がる。	4-1_市の事業 に対する協力	令和6年度以降も事業を継続する予定。 ※神奈川工科大学と調整中。	国保年金課
9	SDGs推進事業	市内事業者や大学、庁内関係課の協力により、SDGsに関するパネル展示や体験コーナーを設けた「あつぎSDGsフェスティバル」を開催する。 また、厚木市オリジナルのSDGsボードゲームを作成する。	来場者にSDGsの取組を広く周知するとともに、SDGsの自分ごと化を図る。	R4年度	神奈川工科大学 湘北短期大学 東京工芸大学 東京農業大学 松蔭大学	10,500	国や県は、SDGsの取組を積極的に推進しており、本市においても持続可能な社会の実現に向け、SDGsの取組を推進する必要がある。 「SDGs」という言葉や概念はとかく「分かりにくい」と思われがちであるが、本事業の実施により、SDGsをより身近なものとして捉えていただくとともに、市民相互のつながりを深めるきっかけとする。	4-1_市の事業 に対する協力		企画政策課

No	①事業名	②事業概要	③事業目的	④事業開始年度	⑤参加者 (教授等氏名、学生等)	⑥事業費 (千円)	⑦必要性と効果	⑧協働の形態	⑨備考	⑩課等名
10	厚木市カーボンニュートラル推進ネットワーク	市と市内の企業、大学、金融機関等が、分野を超えて相互に連携、協力し「カーボンニュートラルなまちづくり」を進める中心的組織として、「厚木市カーボンニュートラル推進ネットワーク」を設立し、事業の検討、実施、情報の共有を行う。	各参加主体の脱炭素経営と市内のカーボンニュートラルなまちづくりを進める。	R4年度	神奈川工科大学 東京工芸大学 東京農業大学 松蔭大学 湘北短期大学	—	市内の主な主体である大学と連携してカーボンニュートラルに向けて取組を進めることは、学生を始めとした市民に対するPR効果が高い。	4-1_市の事業に対する協力		環境政策課
11	身近な環境工コツア— 「農大で生きものさがしをしてみよう」	市内在住の小学生とその保護者が対象。参加者は、東京農業大学にある雑木林で専門的知識を持つ教授と学生のサポートを受けながら、生きもの探しを行う。また、採集できた生きものは、農大施設内で、学生の解説を交えながら参加者全員で観察する。	市内における生物多様性の豊かさを知ってもらうとともに、その重要性について理解を深めてもらう。	R5年度	東京農業大学	—	参加者に市内の身近にある豊かな自然を実感してもらうとともに、市内大学のPR効果、参加者の親子に向けた説明や対応など学生の成長も促す効果が期待できる。	4-1_市の事業に対する協力		環境政策課

No	①事業名	②事業概要	③事業目的	④事業開始年度	⑤参加者 (教授等氏名、学生等)	⑥事業費 (千円)	⑦必要性と効果	⑧協働の形態	⑨備考	⑩課等名
12	教育支援教室運営事業 (教育支援教室集団体験「動物飼育活動」)	教育支援教室通室児童・生徒等が、専門的知識を持つ東京農業大学の准教授と学生のサポートを受けながら、動物飼育活動を行う。	教育支援教室通室児童・生徒等が、東京農業大学の准教授及び学生と共に行う動物飼育活動を通して、人と関わることの楽しさや動物にふれる喜びを味わうことにより、集団生活への適応を図る。	H26年度	東京農業大学 川嶋准教授、学生約15人	11,138	小集団での体験活動を通して対人関係のスキルを向上させ、また、達成感や満足感を味わうことにより、自尊心や自己肯定感の向上につながる。	4-1_市の事業 に対する協力		青少年教育 相談センター
13	デートDV防止啓発事業	神奈川工科大学幾徳祭にてデートDV（交際相手からの暴力）防止のための周知啓発を実施する。	神奈川工科大学「KAIT BLUE」、セーフコミュニティくらし安全課の防犯活動と共催で、デートDV防止の重要性を周知し、若年世代に関心と理解を深めてもらうことを目的とする。	R5年度	神奈川工科大学	—	デートDVによる加害者及び被害者を生まないために、考える機会を提供し、交際相手からの暴力について身近に起こっていることへの気づきや対等な関係についての正しい知識と理解を深めるきっかけとする。 また、相談窓口を紹介し、身近な人に相談できないなど、一人で悩みを抱えている方が相談できる場を提供する。	4-1_市の事業 に対する協力		家庭相談 課

4-② 事業協力（大学の事業に対する協力）

No	①事業名	②事業概要	③事業目的	④事業開始年度	⑤参加者 (教授等氏名、学生等)	⑥事業費 (千円)	⑦必要性と効果	⑧協働の形態	⑨備考	⑩課等名
1	オーストラリア学生交流事業	オーストラリアからの学生が市内大学を訪問し、授業参加や日本文化体験等を通して、国際交流を深める。	湘北短期大学と姉妹提携を行っているオーストラリア ニューカッスル大学の学生が厚木市を訪問し、湘北短期大学学生や厚木市民との交流を図る。	H14年度	湘北短期大学	—	湘北短期大学と姉妹提携を行っているオーストラリア ニューカッスル大学の学生が厚木市を訪問し、湘北短期大学学生等が中心となって実施する国際交流を支援することで、未来の国際交流を担う学生同士の交流を活発化させることに寄与している。	4-2_大学の事業に対する協力		企画政策課
2	神奈川工科大学健康医療科学部看護実習生受入れ	神奈川工科大学の学生16名を、市内公立保育所4園にて受入れる。	学生の保育、小児看護への理解を深めるとともに、看護師としての資質向上を図る。	H29年度	神奈川工科大学 健康医療科学部看護学科 小児看護学実習生 9月~10月 4園22名受入	—	学生は、保育所での保育活動や健康な児童の姿を観察し、認識と理解を深め、心構えや態度を研修し、将来の看護師としての資質を高める。	4-2_大学の事業に対する協力		保育課
3	湘北短期大学保育実習生受入れ	湘北短期大学の学生を、市内公立保育所4園にて受入れる。	学生の保育への理解を深めるとともに、保育士としての資質向上を図る。	H13年度	湘北短期大学学生（保育学科） 2月4園16名受入予定	—	学生は、保育所での保育活動や健康な児童の姿を観察し、認識と理解を深め、心構えや態度を研修し、将来の看護師としての資質を高める。	4-2_大学の事業に対する協力		保育課
4	松蔭大学看護学部実習受入れ	老人福祉センター寿荘において、看護学部の臨地実習を受け入れ、学生が寿荘で活動する高齢者と交流する。(老年看護学)	市内大学で看護師を目指す学生の資格の取得に寄与する。	H28年度	松蔭大学 教授等2人（看護学部 草地 潤子教授、ほか1人）、学生53人	—	学生と高齢者との交流支援として寄与できる。	4-2_大学の事業に対する協力		健康長寿推進課

No	①事業名	②事業概要	③事業目的	④事業開始年度	⑤参加者 (教授等氏名、学生等)	⑥事業費 (千円)	⑦必要性と効果	⑧協働の形態	⑨備考	⑩課等名
5	神奈川工科大学健康医療科学部実習生受入れ	神奈川工科大学の学生を市立小学校の単独調理場および学校給食センターにて受入れる。	学生の学校給食への理解を深めるとともに、管理栄養士としての資質向上を図る。	H22年度	神奈川工科大学学生（健康医療科学部管理栄養学科）10名	—	大学の必修科目である実地研修を本市で行うことにより、事業目的の達成に寄与することができる。	4-2_大学の事業に対する協力		学校給食課